

薬事委員会 WG 記録

日 時：2022年6月6日(月) 17時30分
場 所：薬剤部・カンファレンス室
出 席 者：安田、白上、金森、飯沼、松本
欠 席 者：吉倉、早崎
薬局等出席者：井口[岐阜薬科大学附属]、櫻井、山崎、木野村

記録の承認

2022年5月9日開催の薬事委員会 WG の記録が承認された。

協議事項

1. 院外処方新規申請品目の採用可否について

新たに申請された1品目(ニコペリック腹膜透析液 1.5L 排液バッグ付き)について協議の結果、採用を承認した。

また、事前にメール開催にて承認された1品目(オゼンピック皮下注 2mg)について報告した。

2. 院内緊急購入申請品目の使用適否について

新たに申請された5品目(オゼンピック皮下注 2mg、オンデキサ静注用 200mg、サムタス点滴静注用 8mg・同 16mg、ビンゼレックス皮下注 160mg オートインジェクター)について、使用用途や必要性について確認した。

3. フォーミュラリーの運用について

経口ペニシリン系・セファロsporin系抗菌薬について、アモキシシリン、セファレキシリン、セファクロルの3成分の使用推進を主として、アモキシシリンカプセル 250mg「トーワ」、サワシリン細粒 10%、ケフレックスカプセル 250mg、セファクロルカプセル 250mg「サワイ」、セファクロル細粒小児用 10%「サワイ」の5薬剤を病院推奨薬として提案した。また、その提案に至った経緯(安全管理、処方状況、適応・安全性の比較)について説明した。本内容については「第3世代は吸収率が悪いとのことであるが、効果の影響や部位への到達度はどうなのか」「新薬を使わないのは時代に逆行するのは」「各感染症ではどのような薬剤を使用すればいいのか」等、多くの意見をいただき、9月の薬事委員会での提案と運用実施に向けて、再度 WG で検討することとした。

4. その他

薬剤部より、セット処方内にオーダ停止している薬剤が多く残っている事を報告した。また、診療科より依頼があれば最新の状況へ変更を行う事を報告した。

次回薬事委員会 WG の開催日を、2022年7月4日(月)とした。